

昭和44年度冬作関係除草剤

試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

当協会委託の昭和44年度冬作関係（麦・いぐさ・水稻刈跡多年生雑草対象）除草剤の作用生および適用性判定試験成績検討会が、去る8月31日、東京において開催された。その結果の概要について紹介する。

1. 供試除草剤の動向

供試除草剤数について、対象別の傾向を示すと、第1表のとおりである。麦類対象の試験は、麦作付面積の減少に伴って減少し、水稻刈取跡の多年生雑草防除用薬剤が増加している。

2. 昭和44年度試験結果の概要

昭和44年度冬作関係に供試された薬剤数は、全部で43薬剤であるが、その成分を示すと第

2表のとおりである。

これらの中で、除草効果・薬害等の面から有望であることが認められて、実用化および実用化とともに1部継続に移されることになったものは、第3表に示すとおり11薬剤である。なお、このうち一部のものは、既に前年度より実用化が認められていたが、これはさらに適用地帯・適用時期の拡大や効果の再確認等を目的として試験されたものである。

実用化薬剤を対象別にみると、麦類1、イグサ1、水稻刈取後マツバイ対象4、ミズガヤツリ対象2、ウリカワ対象1、クログワイ対象1、スズメノテッポウ対象1薬剤である。

つぎに、実用化の認められた薬剤の使用基準を示すと、第4表のとおりである。

＜第1表＞ 冬作関係除草剤試験供試薬剤数の推移

対 象	試 験 年 次 別 供 試 薬 剤 数						
	38	39	40	41	42	43	44
麦 類	45	30	25	13	7	9	8
な た ね	5	6	4	4	4	3	0
いぐさ（七鳥イ）	0	1	6	4	4	3	5
水稻刈取跡マツバイ	6	9	9	7	15	7	11
＃ ミズガヤツリ	7	7	8	3	6	8	10
＃ ヒ ル ム シ ロ	0	3	2	1	2	0	0
＃ ク ロ グ ワ イ	0	0	1	0	0	1	1
＃ ウ リ カ ワ	0	0	0	0	0	0	4
＃ スズメノテッポウ	0	0	0	0	0	0	3
休 閑 田	0	0	1	6	0	0	0
そ の 他	24	32	20	12	1	1	1
計	87	88	76	50	39	32	43

＜第2表＞ 昭和44年度冬作関係除草剤供試薬剤成分一覧表

対 象	薬 剤 名	剤 生	有効成分および成分含有率	委 託 会 社 名
1) 麦 類	B - 3 0 1 5	乳 剤	S-(4-クロルベンジル)N,N-ジエチルチオールカーバメイト 50%	クミアイ化学工業
	B - 3 0 1 5・プロメトリン	乳 剤	{ B-3015 50% プロメトリン; 2-メチルチオール4,6-ビスイソプロピルアミノ-S-トリアジン 5%	クミアイ化学工業 日 本 化 薬
	A - 2 0 7 9	水和剤	{ CAT 5% A-1404; 2-メチルチオール4-イソプロピルアミノ-6-(7-メトキシプロピルアミノ)-S-トリアジン 22.5%	ガ イ ギ ー
	F - 1 3 4 7	水和剤	カーバメイト系 40%	石 原 産 業
	T - 1 7 3	水和剤	S-メチル-N-(3-メチルフェニル)チオールカーバメイト 40%	石 原 産 業
	HW - 1 8 2 9	水和剤	— 50%	保 土 谷 化 学 工 業
	HW - 4 4 1	乳 剤	{ HW-40187; 3,5-ジメチル-4'-ニトロフェニルエーテル 20% カーバメイト系 20%	保 土 谷 化 学 工 業
	NC - 3 0 1	水和剤	{ PCP 73% リネロン 5%	日本カーバイト工業
2) い め さ	B - 3 0 1 5	粒 剤	(麦類の項参照) 10%	クミアイ化学工業
	B - 3 0 1 5 S	粒 剤	{ B-3015 7% シメトリン; 2-メチルチオール4,6-ビスエチルアミノ-S-トリアジン 1.5%	クミアイ化学工業
	シメトリン 1.5	粒 剤	シメトリン 1.5%	ギ ー ボ ン 普 及 会
	M C C	粒 剤	メチル-N-(3,4-ジクロルフェニル)カーバメイト 15%	ス エ ッ プ 普 及 会
	S - 4 1 5 9	粒 剤	2,6-ジ第3ブチル-4-メチルフェニル-N-メチルカーバメイト 10%	住 友 化 学 工 業
3) 水 稻 刈 取 後 ① マ ッ バ イ	T A - 2	水和剤	トリクロル酢酸系	日 本 カ ー リ ッ ト
	A - 1 4 0 4	水和剤	2-メチルチオール4-イソプロピルアミノ-6-(7-メトキシプロピルアミノ)-S-トリアジン 25%	ガ イ ギ ー
	Y H - 4 5 1	微粒剤	スルファミン酸アンモニウム 97%	八 州 化 学 工 業
	D M P	粒 剤	{ DBN 1.44% MCPB 1.20% PCP 12.00%	兼 商
	2.4PA-ATA	粒 剤	{ 2.4PA 6% ATA 3%	2.4-D 協 議 会
	T O - 4	粉 剤	スルファミン酸硫酸アンモニウム 80%	三 井 東 圧 化 学

対 象	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委 託 会 社 名
3) 水稲刈取後 ① マツバイ (つづき)	M T - 1 0 2	水溶剤	CH ₂ CLCOOH	三井東圧化学
	S C - 4 2 0 2	粉 剤	塩素酸ソーダ 70%	昭 和 電 工
	S C - 4 2 0 3	粉 剤	塩素酸ソーダ 60%	昭 和 電 工
	N C - 3 0 4	水溶剤	{ トリアゾール系 30% フェノキシ系 55%	日本カーバイド工業
	N C - 3 0 5	水和剤	{ トリアゾール系 60% 尿素系 30%	日本カーバイド工業
② ミズガヤツリ	T A - 1	粒 剤	トリクロル酢酸系 35%	日 本 カ ー リ ッ ト
	T A - 2	水和剤	(マツバイの項参照)	日 本 カ ー リ ッ ト
	A - 1 4 0 4	水和剤	(マツバイの項参照)	ガ イ ギ ー
	バ ラ コ ー ト	液 剤	1,1'-ジメチル-4,4'-ビビリジリウム ジクロリド 24%	武田薬品工業 日 本 農 薬
	バ ラ コ ー ト +BPA(2,4PA)		{ バラコート [現地混用] BPA(2,4PA)	武田薬品工業
	M T - 1 0 2	水溶剤	(マツバイの項参照)	三井東圧化学
	S E - 4 0 2	紛 剤	スルフェミン酸アンモニウム 70%	昭 和 電 工
	S C - 4 2 0 2	粉 剤	(マツバイの項参照)	昭 和 電 工
	S C - 4 2 0 3	粉 剤	(マツバイの項参照)	昭 和 電 工
	塩 素 酸 ソ ー ダ	水溶剤	塩素酸ソーダ 98%	昭 和 電 工 保土谷化学工業
③ ウリカワ	バ ラ コ ー ト	液 剤	(ミズガヤツリの項参照)	武田薬品工業 日 本 農 薬
	A - 1 4 0 4	水和剤	(マツバイの項参照)	ガ イ ギ ー
	2,4PA・ATA	粒 剤	(マツバイの項参照)	2,4-D 協議会
	2,4PA・ATA	水溶剤	{ 2,4PA 60% ATA 28%	2,4-D 協議会
④ クログワイ	バ ラ コ ー ト	液 剤	(ミズガヤツリの項参照)	武田薬品工業 日 本 農 薬
⑤ スズメノ テッポウ	P. P. - 1 2	粒 剤	{ PCP-Na 17% DCBN-3 1.2%	P.P.除草剤普及会
	S E - 4 0 2	粉 剤	(ミズガヤツリの項参照)	昭 和 電 工
	S C - 4 2 0 2	粉 剤	(マツバイの項参照)	昭 和 電 工
⑥ ノビエ 休眠覚醒	石 灰 窒 素 (防 散)		カルシウムシアナミド 50%	日本石灰窒素工業会

＜第3表＞ 昭和44年度冬作関係除草剤実用化判定表

区 分	実 用 化	実 ～ 継	継 続	継 ？	中 止
1) 麦 類		NC-301 水和	B-3015 乳 B-3015・ {プロメトリン 乳 A-2079 水和 F-1347 水和 T-173 水和 HW-441 乳	HW-1829 水和	
2) い ぐ さ		M C C 粒	B-3015 粒 B-3015S 粒 シメトリン 粒 S-4159 粒		
3) 水稻刈取後 ① マツバイ	2.4PA・ATA 粒	TO-4 粉 SC-4202 粉 SC-4203 粉	YH-451 微粒 D M P 粒 MT-102 水溶 TA - 2 水和 NC-304 水溶 NC-305 水和 A-1404 水和		
② ミズガヤツリ	パラコート 液	塩素酸ソーダ 水溶	{パラコート+BPA パラコート+2.4PA SE-402 粉 MT-102 水溶 TA - 1 粒 TA - 2 水和 SC-4202 粉 SC-4203 粉		A-1404 水和
③ ウリカワ		2.4PA・ATA 水溶	パラコート 液 2.4PA-ATA 粒 A-1404 水和		
④ クログワイ		パラコート 液			
⑤ スズメノ テッポウ		SC-4202 粉	PP-12 粒 SE-402 粉		
4) ノビエ 休眠覚醒			石 灰 窒 素		